

平成 29 年度予算主要事業の概要
(事業別説明資料)

消防本部



目 次

消防車両更新等事業	1
消防OAシステム導入事業	2
消防施設修繕事業	3
消防団小型動力ポンプ及び積載車更新事業	4
消火栓整備等事業	5

[拡充] 消防車両更新等事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】												
49,329	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">県支出金</td> <td style="width: 33%; text-align: right;">10,353</td> </tr> <tr> <td>緊急防災債</td> <td style="text-align: right;">32,600</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">6,376</td> </tr> </table>	県支出金	10,353	緊急防災債	32,600	一般財源	6,376	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">車両購入費</td> <td style="width: 33%; text-align: right;">48,310</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td style="text-align: right;">550</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">469</td> </tr> </table>	車両購入費	48,310	修繕料	550	その他	469
県支出金	10,353													
緊急防災債	32,600													
一般財源	6,376													
車両購入費	48,310													
修繕料	550													
その他	469													
(前年度現計 36,476)														

2 事業背景・目的

消防署には消防車や救急車など市民の生命と財産を守るために欠かすことのできない車両が管理されています。車両に不備がないよう定期的に点検、整備を行いながら長寿命化を図ります。また、老朽化したものは計画的に更新するとともに最新の機能を備えた車両を導入するなど常に万全の体制を整えます。

3 事業概要

①【拡充】古川消防署北分署消防車更新

古川消防署北分署の消防車を更新します。なお、これまでの水槽付ポンプ車の機能に加え、泡による消火が可能となる「圧縮空気泡消火装置」を装備した最新の消防車にすることで、長時間の放水が可能となります。さらに、車両がコンパクトになることから狭い道や坂道での運用が向上します。

②神岡消防署指揮車更新

神岡消防署の指揮車は平成9年度に購入したもので老朽化が進んでいるため更新します。なお、これまでの5人乗りタイプから8人乗りのワゴンタイプに変更し、災害現場への職員の大量移送、ドクターヘリに対する医師や看護師の移送、狹隘山道等の救急傷病者の搬送などを可能にします。

③救助工作車板金修繕

古川消防署の救助工作車は平成12年度に購入しましたが、車両下部等の腐食が著しいことから、板金、塗装を行うことで車両の長寿命化を図ります。

(款) 9 消防費	(項) 1 消防費	(目) 1 常備消防費	
所 属	消防本部 総務課	予算書	P.107～109

新規 消防OAシステム導入事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
3,900	一般財源	3,900 事業費
		3,900

(前年度現計 0)

2 事業背景・目的

消防署では病気や怪我をされた方を病院へ処置搬送するほか、処置の医学的な検証や統計事務、医学知識取得のための学会等への参加など様々な業務を行っています。

また、火災発生時の消火活動のほか、火災を未然に防ぐために市内に約2千件あるホテルや工場など、色々な人が出入りする施設に対し防火指導を実施しています。施設の設備の状態を把握することは、火災を未然に防ぐ事は勿論、火災が発生した場合、早く消火するための必要な情報になります。

多岐にわたる消防業務の効率化を図るため、新たに各種情報を適正に管理、利用できるシステムを導入します。

3 事業概要

救急、防火対象物、危険物施設に対する情報を管理するシステムを導入します。

- ・ 救急統計システム

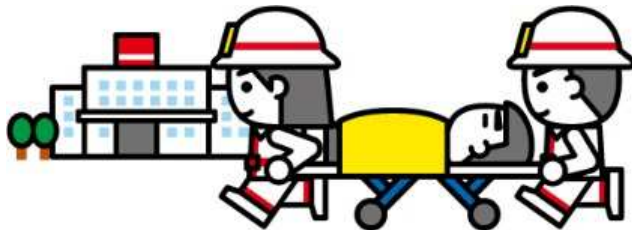
事案管理、消防庁報告機能、統計管理

- ・ 防火対象物管理システム

同意申請管理、事業所台帳管理、申請・届出事務、統計管理、査察・違反管理

- ・ 危険物施設管理システム

施設台帳管理、申請・届出事務、統計管理、査察・違反管理



(款) 9 消防費	(項) 1 消防費	(目) 1 常備消防費	
所 属	消防本部 総務課	予算書	P. 108

消防施設修繕事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
3,350	一般財源	3,350	整備費	3,350

(前年度現計 1,480)

2 事業背景・目的

消防本部庁舎は昭和58年度に建設されて以降、30年以上経過しており、各所に老朽化が進んでいます。定期的に点検を行いながら必要箇所の予防修繕を行い、施設の長寿命化を図ります。

3 事業概要

①訓練棟A修繕工事

訓練塔Aは職員が救助訓練のため、垂直に垂らした15mのロープを登る施設です。ロープを取付ける金具が長年の使用で磨り減り変形していることから、安全確保のため修繕を行います。

②消防本部雨漏り修繕工事

庁舎の一部に雨漏りが発生したことから、重要な装置や資材を守るため修繕を行います。



(訓練棟での訓練風景)

(款)	9 消防費	(項)	1 消防費	(目)	1 常備消防費
所 属	消防本部	総務課		予算書	P.108

消防団小型動力ポンプ及び積載車更新事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
22,007	過疎債 21,500 一般財源 507	車両購入費 16,200 機械器具購入費 5,300 その他 507
(前年度現計 23,746)		

2 事業背景・目的

現在、飛騨市消防団ではポンプ車及び積載車を54台保有しています。

地域の安心、安全を確保するとともに、消防団員の安全かつ迅速な活動を推進するため、車両を適切に維持管理しながら更新計画に基づき定期的に更新を行っていきます。

3 事業概要

更新予定消防団車両 (3台)

- ・古川方面隊中野
- ・河合方面隊坂ノ曾
- ・宮川方面隊打保



(平成28年度購入車両)

(款) 9 消防費	(項) 1 消防費	(目) 2 非常備消防費
所 属	消防本部 総務課	予算書 P. 109, 110

消火栓整備等事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
3,457	分担金	195	負担金	1,957
	一般財源	3,262	整備費	1,500
(前年度現計 8,889)				

2 事業背景・目的

消防水利が乏しく早期の消火活動が困難な場所について、地域の意見も踏まえながら消火栓を新設することで住民の不安を解消します。また、火災発生時には、地域住民による初期消火や消防署、消防団の水利として迅速で確実な消火活動につなげます。

3 事業概要

①消火栓の新設 (1,957千円)

- ・ 神岡町夕陽ヶ丘地内
 - ・ 神岡町東雲地内
- 計 2ヶ所

②消火栓の修繕 (1,500千円)

既設消火栓の突発的な修繕等に対応します。



(款)	9 消防費	(項)	1 消防費	(目)	2 非常備消防費
所 属	消防本部	総務課	予算書	P. 109, 110	